

## 第10課

❖❖ モノレールでピクニックに出かける ❖❖

### スキット

さあ、いよいよピクニックに出発ですー

Nozomi (N) : Hali ya hewa **nzuri** leo.

Sasa twende Banpaku Kinen Kouen !

Ni mara yako ya kwanza kupanda monoreli ?

Saida (S) : Ndiyo, inasisimua.

(Ndani ya monoreli)

N : Monoreli imeanza kufanya kazi kituo cha Saito-Nishi mwaka jana.

S : Ee. Inastarehesha sana na kutupa mandhari **nzuri**.

のぞみ (N) : 今日は晴れてよかったね。

Kyou wa harete yokatta ne.

さあ、万博記念公園に行こう！

Saa, Banpaku Kinen Kouen ni ikou !

モノレールは初めて？

Monoreeru wa hajimete ?

サイダ (S) : うん、ワクワクする。

Un, wakuwakusuru.

(モノレールの中)

N : モノレールは彩都西駅まで去年開通したんだよ。

Monoreeru wa Saito-Nishi eki made kyonen kaitsuu shitanda yo.

S : そうなんだ。乗り心地がすごくいいし、眺めもいいね。

Sounanda. Norigokochi ga sugoku ii shi, nagame mo ii ne.

## 解 説

第10課では、次の項目について学びます。

### ◆ 形容詞(1)



### ◆ 形容詞(1)

形容詞は名詞を説明する語です。スキットにこのような語が出てきましたね。

mandhari **nzuri**

これまでのスキットにも出ていました。

chumba **kizuri**

watu **wengi**

‘nzuri’, ‘kizuri’, ‘wengi’, これらが形容詞です。文字通りの意味はこのようになっています。

mandhari **nzuri**

〈よい景色〉

chumba **kizuri**

〈きれいな部屋〉

watu **wengi** (< watu wa-**ingi**)

〈たくさんの人々〉

スワヒリ語の形容詞はこのように名詞の後に来ます。

名 詞

形容詞

スワヒリ語の形容詞には、名詞クラスのシルシを付ける種類のもの、主語のシルシまたはその変化形を付ける種類のもの、シルシを付けない種類のもの 3つがあります。

- ◇ 名詞クラスのシルシを付ける種類
- ◇ 主語のシルシまたはその変化形を付ける種類
- ◇ シルシを付けない種類

ここでは特に、名詞クラスのシルシを付ける種類の形容詞(名詞シルシ系形容詞)について中心的に見ていきましょう。これは言わば、名詞の帽子に合わせた帽子を被る形容詞です。

名詞シルシ系形容詞のシルシはこのようになっています。例と合わせて見てみましょう。

▽ 名詞シルシ系形容詞のシルシ

クラス	形容詞のシルシ	((例))			
			-zuri 〈よい〉	-ingine 〈他の〉	-eupe 〈白い〉
1	<b>m-</b> ( <b>mw-</b> ) <sup>*1</sup>	(mtu)	mzuri	mwingine	mweupe
2	<b>wa-</b>	(watu)	wazuri	wengine (< wa-ingine)	weupe (< wa-eupe)
3	<b>m-</b> ( <b>mw-</b> )	(mti)	mzuri	mwingine	mweupe
4	<b>mi-</b> ( <b>my-</b> )	(miti)	mizuri	mingine (< my-ingine)	myeupe
5	<b>-</b> ( <b>j-</b> )	(jiwe)	zuri	jingine	jeupe
6	<b>ma-</b>	(mawe)	mazuri	mengine (< ma-ingine)	meupe (< ma-eupe)
7	<b>ki-</b> ( <b>ch-</b> )	(kitu)	kizuri	kingine / chingine	cheupe
8	<b>vi-</b> ( <b>vy-</b> )	(vitu)	vizuri	vingine	vyeupe
9	<b>n-<sup>*2</sup></b> ( <b>ny-</b> )	(nguo)	nzuri	nyingine	nyingine
10	<b>n-<sup>*2</sup></b> ( <b>ny-</b> )	(nguo/nyuzi)	nzuri	nyingine	nyingine
11	<b>m-<sup>*3</sup></b> ( <b>mw-</b> )	(uzi)	mzuri	mwingine	mwingine
15	<b>ku-</b> ( <b>kw-</b> )	(kusoma)	kuzuri	kwingine	kwingine
16	<b>pa-</b>	(mahali)	pazuri	pengine (< pa-ingine)	peupe (< pa-eupe)
17	<b>ku-</b> ( <b>kw-</b> )	(mahali)	kuzuri	kwingine	kwingine
18	<b>mu-</b> ( <b>mw-</b> )	(mahali)	mzuri	mwingine	mwingine

\*1 ( )内は母音始まりの形容詞の場合である。

\*2 'n-' が付くのは, 'd-', 'g-', 'z-' 始まりの形容詞のみである。

\*3 クラス 11 のみ, 名詞のシルシ(u-)と名詞シルシ系形容詞のシルシ(m-)が一致しない。

クラス 11 のみ名詞クラスのシルシと一致しません。また、クラス 5, 9/10 は形容詞の頭や音の切れ目の数によりシルシが変化しますので、この表の通りとは限りません。



さて、スワヒリ語の形容詞は、実は種類があまり多くありません。例えば、色を表わす形容詞にしても、‘-ekundu’〈赤い〉, ‘-eupe’〈白い〉, ‘-eusi’〈黒い〉の 3 つしかないのです。

- ‘-ekundu’ 〈赤い〉

((例 1)) simu **nyekundu** 〈赤い電話〉  
(クラス 9)

(‘simu’ 〈電話〉)

- ‘-eupe’ 〈白い〉

((例 2)) simu **nyeupe** 〈白い電話〉  
(クラス 9)

- ‘-eusi’ 〈黒い〉

((例 3)) simu **nyeusi** 〈黒い電話〉  
(クラス 9)

他の色は例えば‘=a’〈の〉を用いて‘=a rangi ya kijani’〈草の色の〉で〈緑色の〉を表わしたり, ‘=a rangi ya manjano’〈ターメリックの色の〉で〈黄色い〉を表わしたりします。

- ‘=a rangi ya kijani’ 〈緑色の〉

((例 4)) simu **ya rangi ya kijani** 〈緑色の電話〉  
(クラス 9)

(‘rangi’ 〈色〉)

- ‘=a rangi ya manjano’ 〈黄色い〉

((例 5)) simu **ya rangi ya manjano** 〈黄色い電話〉  
(クラス 9)



数の形容詞は、1 から 5 と 8 にだけシルシを付けます。6, 7, 9, 10, それ以降の数字にはシルシを付けません。

形容詞のシルシが付く数

**1~5, 8**

例を見ておきましょう。

		((例 6))	
-moja	〈1 つの〉	mtu	<b>m</b> moja 〈1 人〉
-mbili	〈2 つの〉	watu	<b>w</b> awili 〈2 人〉
-tatu	〈3 つの〉	watu	<b>w</b> atatu 〈3 人〉
-nne	〈4 つの〉	watu	<b>w</b> anne 〈4 人〉
-tano	〈5 つの〉	watu	<b>w</b> atano 〈5 人〉
sita	〈6 つの〉	watu	<b>s</b> ita 〈6 人〉
saba	〈7 つの〉	watu	<b>s</b> aba 〈7 人〉
-nane	〈8 つの〉	watu	<b>w</b> anane 〈8 人〉
tisa	〈9 つの〉	watu	<b>t</b> isa 〈9 人〉
kumi	〈10 の〉	watu	<b>k</b> umi 〈10 人〉

❖ · · ❖

さあ、他の種類の形容詞についても一通り見ておきましょう。

まず、これらが主語のシルシまたはその変化形を付ける種類の形容詞(主語のシルシ系の形容詞)の例です。

○ ‘=moto’ 〈熱い〉

((例 7)) kitu **kimoto** 〈熱い物〉  
(クラス 7)

○ ‘=baridi’ 〈冷たい〉

((例 8)) hewa **ibaridi** 〈冷たい空気〉  
(クラス 9)

すでに学んだ〈の〉や〈私の〉, 〈この〉なども、実はこれと同じ主語のシルシ系の形容詞です。

((例 9)) クラス 5 の〈の〉や〈私の〉, 〈この〉など

<b>la</b>	〈の〉		
<b>langu</b>	〈私の〉	<b>letu</b>	〈私たちの〉
<b>lako</b>	〈あなたの〉	<b>lenu</b>	〈あなたたちの〉
<b>lake</b>	〈彼(女)の〉	<b>lao</b>	〈彼(女)たちの〉
<b>hili</b>	〈この/これ〉	<b>hilo</b>	〈その/それ〉
<b>lile</b>	〈あの/あれ〉	<b>lipi</b>	〈どの/どれ〉

そして最後に、これらがシルシを付けない種類の形容詞の例です。外来語系の形容詞がこの種類に入ります。

- ‘ghali’ 〈(値段が)高い〉

((例 10)) kitu **ghali** 〈(値段が)高い物〉  
(クラス 7)

- ‘safi’ 〈きれい〉

((例 11)) hewa **safi** 〈きれいな空気〉  
(クラス 9)

❖

